

歎 碩書

秋れく勞働者は有限に傷く一は致して詳志か
有りませしか 餘りに蒸かられ不條理成るは勞働は
これほど日衛上改良して戴かぬは更なると思ふが
有りませ 其長に在りませ 一は勞働者休養せし
めるは別を今少し多くしていたゞたと思ふは
田舎に勞働時短しませ 一は勞働者に
必要するに秋々に此へ了 勞働者には
失しはしないかと思ふが 有りませ 故に死る直前に
養して戴きたい決意で有りませ 以上

書業者出勤及退場時間

朝七時出勤

休憩九時より十五分間

中夜十一時半

十二時 作業

休憩三時より十五分間

退場五時

夜業者出勤及退場時間

夕五時出勤

休八時より十五分間

中夜十一時(三十分休)

休三時より十五分間

退場四時

現父勞働時間十時半に於て一は致して詳志か
歎 致し候也

但しニ事件ニ對シ儀性看ヲ生ザル事